



きらりん

第27号

令和 4 年 12 月 23 日

発行: 岡崎聾学校PTA

編集: PTA活動広報班

一 目 次

1 P・副会長挨拶

学校行事報告

2 P・PTA活動報告

3 P・PTA活動報告続き

座談会報告

4 P・中・高等部活動

キャプテン一言

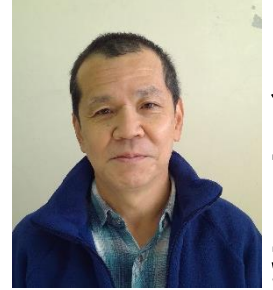
児童・生徒会

会長一言

おしらせ

編集後記

副会長 挨拶



岡崎聾学校
PTA 副会長

岡田 武彦

皆様こんにちは。令和4年度PTA副会長を務めております中学部の岡田武彦です。日頃は、PTA活動に御理解と御協力をいただき、誠にありがとうございます。

新型コロナウイルスの感染が未だ収束せず、更には第8波の感染拡大が見られています。このような状況でこそ、「手洗い」「うがい」を徹底し、新型コロナウイルス感染症を広げない生活習慣を意識しましょう。

今年度は修学旅行も概ね例年通りに戻り、小学部は京都・奈良、高等部は長崎、そして中学部は東京に行くことができましたと聞いています。感染対策などの注意を払いながらも、できる範囲で修学旅行を計画・実行していただいた先生方に心より感謝申し上げます。

文化祭も、体育館の改修工事のため特別な形で実施となりました。当日は天気にも恵まれ、中庭に全校児童生徒が集まることができ、本当に良かったと思います。各部の発表でも子どもたちの笑顔を見ることができました。

今後子どもたちが安心して学校生活を送ることができるように、皆さんで一丸となってがんばっていきましょう。今後ともよろしく願いいたします。

野外活動

7月10日(日)ー12日(火) 中学部 担当

菅 伸之介



中学部野外活動で愛知県美浜自然の家へ行きました。1日目は、ビーチ活動・座禅体験・野外炊飯、2日目は、サップ・シーカヤック体験・湯呑み一刀彫り・キャンドルサービス、3日目は灯台散策を行いました。特にサップ・シーカヤック体験は初めて体験する生徒が多く、インストラクターの説明を真剣に聞き、実際にサップのボートに乗りました。初めは立ちながら漕ぐことに苦戦する様子が見られました。しかし、何度海に落ちてもボートに戻り、繰り返し挑戦することで、見事に立ちながら漕ぐことができる生徒がどんどん増えました。生徒の笑顔が輝く、充実した野外活動になりました。



修学旅行

9月14日(水)ー16日(金)

中学部 担当 水谷友哉

今年度の中学部修学旅行は2泊3日で東京に行くことができました。国会議事堂や浅草、東京スカイツリーなど首都東京らしい名所を見学することができました。

特に盛り上がったのが東京ドームシティアトラクションズでした。大迫力のジェットコースターやおどろおどろしいお化け屋敷など豊富なアトラクションがあり、時間一杯楽しむことができました。

さらに、葛飾ろう学校へ直接赴き、交流を深めることができました。昨年度からQQQを用いて交流を行っていました。生徒や学校のことを知るきっかけになりました。



修学旅行

9月21日(水)ー22日(木)

小学部 担当 数押奈穂美



小学部修学旅行の行き先は、3年ぶりに京都・奈良。新型コロナウイルス感染症感染拡大や台風の影響などで実施が心配されましたが、予定どおり全員そろって元気に行つてくることができました。一日目は東大寺大仏殿の見学や鹿のえさやり、京都タワーでの清水焼絵付け体験、二日目は清水寺、金閣寺、東映太秦映画村の見学をしました。大仏の大きさに驚いたり、予想外の鹿の動きにみんなで笑い合ったり、音羽の滝の御利益の事実を知って驚愕したりと、学校で学習したことを実際に見て、感じて、貴重な体験となりました。また、しおりを見て自分たちで考えて行動したり状況に合わせて計画を友達と相談し合ったりと、絆も深まりました。

マスクアクセサリー 作成講座

9/30

教頭 伊藤 光子

アクセサリーを制作・販売している行徳真弓先生を講師としてお招きし、マスクアクセサリーを作りましました。アクセサリーキットを自分好みに並べるところまでは順調でしたが、キットとキットをつなげる作業がなかなかできず、何度も先生に手伝っていただきました。隣で作っていた保護者の方が、工具の使い方のコツを教えてくださいました。自力で作業を進めることができました。世界で一つだけのマスクアクセサリーが出来上がり、セッションが大いに上がったひとときでした。



家庭教育を考える部会

2022愛知 10/8

PTA会長 山道 智恵子

ご両親が健聴でご自身と妹さんが難聴という家庭で育ち、早稲田大学でラグビーをやっておられた岸野楓様の講演でした。ラグビーを通じて聴者との人間関係の難しさや苦悩、曲げる事のなかった信念のお話や、彼の今の気持ち、ご両親や周りの方への感謝の言葉を伺い、「自分は我が子に感謝される親なのだろうか？子育てはこれでよかったのだろうか？」と振り返る事ができました。また、聞こえない子供の気持ちを少しかもしれないですが理解できたように思いました。とても有意義な時間となりました。そして、明るく前向きな彼の姿がとてもまぶしく映りました。

美化活動を通して

10/12

美化班班長 高橋 あやの

十月十二日に行なわれた美化活動には、平日にもかかわらず四十人以上の保護者の方が参加してくださいました。まだ収まらぬコロナ禍の中で、あまり参加しながらない方も多いのではないかと、という不安もありましたが、当日はたくさんの方々の参加のおかげで、当日はたくさんの方々の参加のおかげで、本当に感謝しています。

参加していただいた方の中には、自ら率先して動いて下さる方や、とても丁寧に掃除をして下さる方もみえ、その姿はとっても嬉しい驚きでした。そんな姿を見て、生徒の皆さんにとって良い刺激となれたら、と思いました。

数少ない行事の一つである美化活動を通して、みんなで協力し合って学校周辺を綺麗にした事で、その際の達成感はとても格別だったと感じる事が出来ました。このような達成感や一生懸命に物事に取り組む大切さを、保護者を通して生徒に伝えられることが大切であり、目標なのだと思います。



文化祭

10月29日土



保護者

盛永 翔馬

まずは、未曾有の災禍の中にもかかわらず文化祭の開催に大変嬉しく思います。皆様の感染対策などのご協力があったおかげだと思えます。ありがとうございました。

自分も旭川市のろう学校出身であり、岡ろうの文化祭との違いを知るのが楽しみのでしたが、今回は体育館が工事で使用できない、カレー模擬店のみと例年と違ったやり方でした。（学生時代、いつもモスバーガーのバザーが楽しみでした。（笑））

家族も来校となり、にぎやかに子供たちも楽しそうでした。カレーも3杯食べてしまうほどおいしく、子供たちにも大好評でした。

今年度卒業される方は、アオハルを少しでも味わえたのだと思います。在校生は来年の文化祭がいつもの文化祭に戻っていくという希望を持ちながら、過ごせることでしょうか。また、来年の文化祭が無事に開催されることを祈っております。See you again!



今年は3年振りにカレーライスの模擬店を行なうことができ、ご協力いただいた関係者・会員の方すべてに感謝しております。運営経験者の無い混乱の中でご協力いただいた高等部保護者の方へ、お手伝いいただいた時に感じた事などを、カレー販売班がアンケートさせて頂きました。一部抜粋ではありますが、掲載させていただきます。

今後の活動に活かして参りたいと思います。ありがとうございました。



- ・3グループに班分けし、分担したのでスムーズにできた。
- ・持ち帰りができるようにしたのがよかった。
- ・部屋の外での受け渡し方法はよかった。
- ・誘導してくれる人が個数を言うてくれたので、受付の前で待たせることなくスムーズに流れてすぐよかった。
- ・高等部の保護者の方と交流するきっかけになってよかった。
- ・はかりが足りなかったたので、人数が多いと2台ずつ用意した方がよいかも。
- ・スプーンを入れる箱を用意するとよい。
- ・カレーの鍋がもう少し低い台に置けたらすくい易いと思う。
- ・事前チケット制にすれば、スイーツ等も出来そうに感じた。
- ・役員の人数が増えれば、ゆっくり見て回れるのに。
- ・写真などの見本があるとイメージし易い。
- ・福神漬が欲しかったと言う声がありました。

PTA 研修会

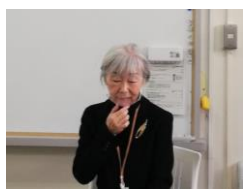
参加者 井川 敬子

11月22日(火) 岡崎聾学校会議室

にて、特定非営利活動法人つくし理事 村上栄子さまを講師に迎え、PTA研修会が行なわれました。多くの保護者の方の参加がありました。起業に至るまでの聾学校教員の経験での疑問や思い、そして、ろう重複者支援施設の理事としての立場での思いや悩み、気づき、今後の展望など、貴重なお話を伺うことができました。

『子どもは社会で育てる』という基本的な考え、ろう重複のある子どもにも、家庭、学校とともに『第三の場所が必要』であること、茜など放課後等デイサービスの活動を通して『ろう重複の子どもたちのアイデンティティを育てたい』という話が印象的でした。

我が子がこの春に幼稚部修了を迎え、子育ての区切りを感じていましたが、まだまだこの先長く子育てが続くのだと改めて理解しました。障害のある子どもの親として、足りないものを補うことにとらわれ過ぎず、『ここにいていい、居心地がいい』という安心して過ごせる『家庭、学校、第三の場所』を、子どもに提供してあげたいと思いました。また、一人の人として、感じている問題や疑問から行動を起こしたことで、それがその先の多くの支えになったことも感謝しました。



たいへん考えさせられる内容で、充実した研修会に参加でき感謝しております。

座談会報告

幼稚部

10月27日(木) 10時~11時半 幼稚部の保護者計11人、校長先生、部主事先生に参加いただき開催することができました

- ・ 帰る時間を午後2時にしたい。
- ・ 下の子供を預かってもらえないか、授業参観の時だけでも交流の費用(給食費)が岡崎市は保育料に入っている。
- ・ 体育館・運動場が遠い。
- ・ 保護者の付き添いは必要か?
- ・ 二重籍で通っている子へのフォローをして欲しい。
- ・ (家でできるような宿題にして欲しい)
- ・ たんぼぼタイムの回数を増やして欲しい。(発音)
- ・ 発音について研修を受ける機会に保護者も参加したい。
- ・ 行事を減らすなど、余裕をもってやって欲しい。
- ・ 作法室に電子レンジを置かせてほしい。
- ・ 1年間の集約をする為にも、3学期も座談会をして欲しい。



小学部 低学年

今回は少人数で、保護者の希望もあり教頭先生と勉強会として行ないました。

- ・ 【発音について】
- ・ 母音、口形、舌の位置、息の吐き方・日本語を意識して口形を作ることが大切。
- ・ 無理をせずに子供のペースに合わせて練習するとよい話したい!という気持ちをなくさせないようにすることが大切。
- ・ 発音練習に関する本が少ないので発音練習で困っていることがあれば、先生方に相談したりアドバイスをもらったりするのでもいいと思う。

- ・ 【絵日記を楽しくやるために】
- ・ 絵日記は、文を書くのが目的ではなく、イメージしたことを日本語で表すのが目的。子供が経験したことやイメージ作りできるようにすると、楽しく書ける。
- ・ 親や先生とのやりとりも大切。頑張って書くこ!という気持ちにさせて、子供の気持ちや思ったことをたくさん聞いてあげると話がふくらんで、楽しくできるようになる。

小学部 高学年

高学年の保護者5名、校長先生、部主事先生にご参加いただき、開催することができました

- ・ 東蔵前のバス停付近の交通量が多く事故が懸念される。信号機を設置して欲しい。
- ・ 下校時、学校を出る時は集団になっているけれど、バス停に着くころには、ばらばらになっている、危ない。
- ・ 西尾安城方面のスクールバスができたことはとても嬉しく思っている。今後はより便利になるように、コースを増やしてほしい。
- ・ 校内でスピードを出し過ぎている車がいて、事故が心配。
- ・ 卓球全国大会で男女共に優勝したのが、素晴らしい。子どもたちのよい目標や励みになっている。
- ・ 運動会の種目で以前は一輪車があり、ダイナミックでよかった。
- ・ 運動の時間を増やしてほしい。

中学部 高等部

11月22日(火) 13時から 中学部・高等部の保護者計5人の方にご参加いただきました。ありがとうございました。

- ・ 部活動顧問の先生に対して、感謝しかない。
- ・ 全国大会出場にあたって、子供は体育館が使えないことに不満だったが、岩津高校・岩津中学校にお世話になり、地域に助けられている。
- ・ PTA会長は高校2年生の方が適任では?
- ・ 役員や会長を引き受ける事は決まっているのだから、学年が変わる事にそんなに負担が?
- ・ PTA内規を変更する手順がルール化がされていないのでスピーディーに進まないのでは?
- ・ 二十歳を祝う会は保護者も来ますか?
- ・ 部活動内で子供たちの温度差があり、頑張る子のモチベーションダウンにならない様に注意して欲しい。



中・高等部部活動キャプテンから一言

陸上部

キャプテン 梅谷 大輝

私たち陸上競技部は第59回全国聾学校陸上競技大会に参加しました。初の大舞台に緊張する気持ちとともに胸の高鳴りが止まりませんでした。短距離、長距離、跳躍、投てき、すべての競技において満足する結果とはならず、悔し涙を流しました。今回の大会で経験した悲しさ、悔しさを糧に陸上競技部は成長していきます。そして、「目指せ、全国制覇」を合言葉にして、部員全員で励まし合い、高め合う陸上競技部になります。来年度の大会では全員で嬉し涙を流したいです。

高校生活における私の陸上人生はこの大会をもって終わりを迎えました。私が大事にしてきた高みを目指す志は後輩たちが受け継いでくれると信じています。これからも陸上競技部への応援をよろしく願います。



卓球部

キャプテン 楠本 大輝

十一月四日から六日まで第63回全国聾学校卓球大会香川大会に参加しました。女子は、団体戦で決勝トーナメント進出、男子は、個人戦で準優勝、団体戦で優勝という結果でした。

三年ぶりに開催された今大会は、私たち三年生にとつての最初で最後の全国大会でした。最高の結果を残すことができ、高校生活での大きな思い出の1つとなりました。この優勝は自分たちの努力だけではなく、体育館を貸してくださったり、練習相手になってくださった方々、家族の支えがあつてこそこの優勝だと思っています。本当にありがとうございます。

また、全国大会出場に際してPTAから補助金をいただきました。ありがとうございました。



バレー部

「やっと果たせた目標」 村井颯斗

今年度の東海地区聾学校バレーボール大会で、悲願のアベック優勝を果たしました。今後も技術やチームワークを高めるための練習を続け、2連覇を目指します。

和太鼓部

清水姫奈

愛知県高等学校総合文化祭で「秩父屋台囃子」と「カイト」を演奏しました。全力で叩き、みんな楽しんでくれて良かったです。自信をもって堂々と笑顔で発表し、最高でした！

アート部

高橋恋香

私たちアート部は、中学部、高等部の8人で活動しています。活動内容は、主に運動会の応援旗や文化祭に向けての作品制作です。一人一人が作品制作に集中してがんばっています。

茶華動部

鶴田和佳

茶華道部員は、中学部5人、高等部3人の計8人です。講師の先生をお迎えして、作法や生け方などを教えていただいています。文化祭やお茶会に向けて、練習をがんばります。

児童・生徒会会長から一言

小学部

児童会長 島 結叶

児童会ではさまざまな活動をしています。1つ目は児童会新聞を作り、配布することです。小学部の行事やアンケートの結果をお知らせしています。2つ目は部朝会で司会をしたり月目標を発表したりすることです。3つ目はみんな楽しんで、協力できるレクリエーションを考えて実行することです。このように、よりよい小学部にするためにがんばっています。

中学部

生徒会長 加藤愛華

今年の文化祭は体育館が使えなくて心配していましたが、開会式を中庭で行うなどさまざまな工夫がされた文化祭でした。私たち中学部生徒会が考えた中学部企画においても、コロナ対策を考えながら楽しめる企画を行いました。4つの催し物を2つの教室に分け、お祭りの緑日のような雰囲気でお客さんに楽しんでもらうことができました。マスクを着用して実際に進めることは大変でしたが、お客さんの笑顔を見ることができました。私はすごく満足できました。

高等部

生徒会長 井戸 梓希

生徒会はさまざまな活動を行っています。たとえば、朝の挨拶運動を実施しています。元氣よく笑顔で挨拶することでみんなが明るい1日を始められると思っています。また、高等部全員で参加する生徒会レクを開催しました。ババ抜き大会を行い、賑やかな雰囲気となりました。今は公約の達成に向けて準備を進めています。明るい聾学校にします。

お知らせ

美化活動班

今回の美化活動は卒業式前の2月28日を予定しています。

卒業生を気持ちよく送り出してあげるためにも、皆さまぜひご協力をお願いします。

◆編集後記◆

今年度はコロナ禍でありながらも、行動制限などが緩和されてゆき、様々な行事が行われた事を大変感謝しています。

我が子たちが制約なく学校行事を楽しむ、のびのびとした学生生活を送る。そんな当たり前の日常に戻りつつあることをとても嬉しく思う一年でした。

最後に、お忙しい中、寄稿・尽力いただきました方々に心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

―編集―

梅谷 奈津絵
井川 敬子
平野 真唯
山田 知里

